

高岡市総合交通戦略

平成26年3月

高岡市



はじめに

私たちのまち高岡は、高岡駅を中心に JR 北陸本線、JR 城端線、JR 氷見線、万葉線といった鉄軌道が東西南北に運行し、基幹的な交通軸として機能しております。また、高岡駅を起点にバス路線が放射状に運行し、市民の生活の足として利用されております。さらに平成 27 年春には、北陸新幹線が開業し、県西部地域や飛騨・能登地域の新たな玄関口となる新高岡駅が供用開始となるほか、東海北陸自動車道や能越自動車道の整備も進められるなど、飛越能地域の広域交通の要衝としての役割が今後ますます高まるものと考えております。

一方、近年急速に進む人口減少、モータリゼーションの進展や市街地の拡散による自動車依存の高まりなどにより、公共交通の利用者は減少傾向にあり、本市の公共交通を取り巻く環境は厳しいものとなっております。しかしながら、少子高齢社会の進行により、自動車を運転できない交通弱者の増加が予想され、公共交通による移動手段の確保が必要であるほか、過度な自動車利用による環境負荷の増大への対応など、公共交通の果たす役割は重要なものとなっております。

このような中、北陸新幹線開業という本市交通の一大変革期を迎えるにあたり、本市の将来を見据え、交通施策において今後の基本計画となる「高岡市総合交通戦略」を策定しました。

この戦略では、「都市の成長を高める広域交通体系の構築」、「市内を円滑に移動できる交通体系の構築」、「安全・安心な交通環境とサービス水準の向上」、「公共交通を利活用するライフスタイルへの転換」を基本方針とし、交通とまちづくりが連携した実効性のある具体的施策をとりまとめました。

今後、この戦略に基づく施策事業を事業者や市民の皆様とともに推進し、安全・安心で利便性の高い公共交通体系を構築することを通じて、公共交通を利活用した安全・安心で活力ある市民生活の実現を目指します。

結びに、戦略の策定にあたり、総合交通戦略策定協議会委員や公共交通ビジョン懇話会委員の皆様、並びに貴重なご意見をいただいた市民の皆様をはじめ、ご協力をいただいた全ての方々に深く敬意と感謝の意を表すとともに、今後とも、より一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

高岡市長 高橋 正樹